

(1) 南海トラフ地震の被害想定

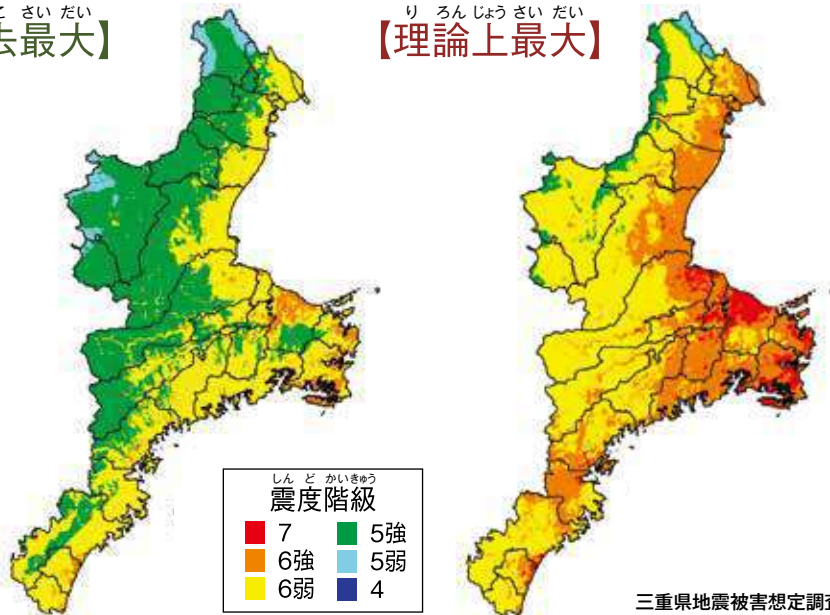
南海トラフ地震が発生した場合、マグニチュードは8~9、震度は伊勢志摩地域、東紀州地域を中心に、6強以上の揺れが想定されています。

また、場所によっては、約11mを超える大津波が到達することも想定されています。

◆南海トラフ地震発生時の強震動予測

【過去最大】

【理論上最大】



三重県地震被害想定調査結果(平成26年3月)

【過去最大クラスの南海トラフ地震】

過去概ね100年から150年間隔でこの地域を襲い、揺れと津波により本県に甚大な被害をもたらしてきた、歴史的にこの地域で起こり得ることが実証されている南海トラフ地震。

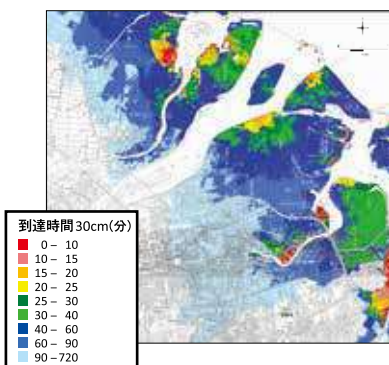
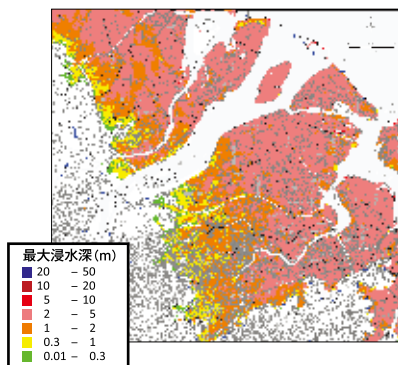
【理論上最大クラスの南海トラフ地震】

あらゆる可能性を科学的見地から考慮し、発生する確率は極めて低いものの理論上は起こり得る最大クラスの南海トラフ地震。

◆南海トラフ地震(理論上最大クラス)発生時の浸水予測と津波浸水深30cm到達予測

津波浸水予測図

津波浸水深30cm到達予測時間分布図



津波浸水予測は

「どこまで逃げなければいけないか」、津波浸水深30cm到達予測時間分布図は

「いつまでに、どの方向に避難しなければいけないか」

を示しています。

三重県地震被害想定調査結果(平成26年3月)

◆想定される南海トラフ地震の人的被害と建物被害

	過去最大クラス		理論上最大クラス	
	死者	建物全壊・焼失	死者	建物全壊・焼失
揺れ	約 1400人	約23,000棟	約 9,700人	約170,000棟
液状化	—	約 5,900棟	—	約 6,200棟
津波	約32,000人	約38,000棟	約 42,000人	約 37,000棟
火災	—	約 2,100棟	約 900人	約 34,000棟
急傾斜地等	約 60人	約 700棟	約 100人	約 1,100棟
計	約34,000人	約70,000棟	約 53,000人	約248,000棟

あなたの地域の震度、津波浸水などの予測は三重県のホームページで見ることができますよ!

三重県 ハザードマップ [検索](#)

(2) 防災気象情報

気象庁は、低気圧や台風の接近によって、大雨により災害が発生するおそれがある場合、注意報や警報等の防災気象情報を発表します。一方、地域の市町が避難勧告や避難指示(緊急)を発令する場合があります。危険を感じたら自らの判断で早めに避難しましょう。



防災みえ.jp

普段から…
大雨になるおそれ
雨が降り出す

気象情報・空の変化に注意

- ・ 周りより低い場所など、危険箇所を把握
- ・ 避難場所や避難ルートを確認しておく

Point 備えは大丈夫?

雨が強くなると…
注意報

最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を
雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動!

- ・ 気象情報や外の様子に注意
- ・ 非常用品や避難場所、避難ルートを確認

Point 特別警報が発表されていなくても早め早めの行動を!

大雨が降り続けると…
警報

自治体が発表する避難に関する情報に注意し、必要に応じ速やかに避難

Point 特別警報が発表されていなくても早め早めの行動を!

さらに激しい大雨が続くと…
特別警報

ただちに命を守る行動をとる

非常事態 市町からの避難勧告等に従い直ちに避難所に避難!
 外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動

「住居の位置」や「住居の構造」、「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。災害から命を守る事ができる行動を考えておきましょう。

Point 冷静な判断が大事です。周囲の状況に応じた行動を!

浸水の中の避難は**非常に危険!**

気象庁HPより引用

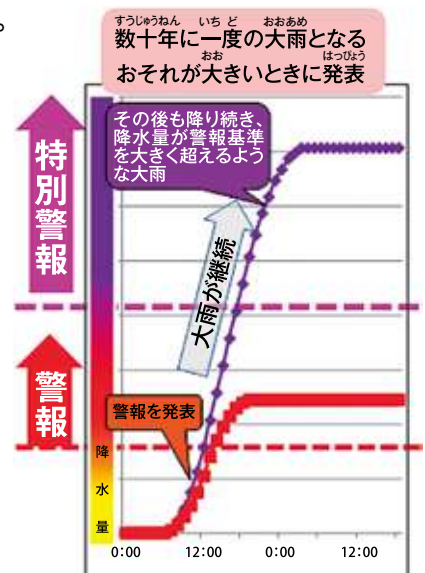
(3) 特別警報

◆気象庁は、平成25年8月30日に「特別警報」の運用を開始しました。

「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。

気象庁はこれまで、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけていました。これに加え、今後は、この**警報の発表基準をはるかに超える**豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けることとなりました。

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や市町から発表される避難指示・避難勧告(緊急)などの情報に留意し、**ただちに命を守るための行動をとってください。**



伊勢湾台風(写真提供:輪中の郷)



平成23年台風第12号(紀伊半島大水害)

気象庁HPより引用

特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。大雨等においては、時間を追って段階的に発表される気象情報、注意報、警報を活用して、早め早めの行動をとることが大切です。